

大腸内視鏡検診の有効性

イタリアの Segnan らは、55 - 64 歳における一度の S 状結腸鏡検査による大腸がん検診の有効性を検証するため、34292 名を対象として 10 年におよぶ臨床試験を行い、その結果を「Journal of the National Cancer Institute」誌に報告しました。



55 - 64 歳における一回の S 状結腸鏡検査によるスクリーニングは、大腸がん罹患率・死亡率の有意な減少と関連しました (rate ratio:前者;0.82、後者;0.78)。

